

問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)
1	問 1 (1)	77.3	2	問 1	68.5	3	問 1	80.7
	問 1 (2)	41.5		問 2 (1)	58.0		問 2	57.7
	問 2 (1)	83.7		問 2 (2)	49.7		問 3	61.2
	問 2 (2)	82.1		問 3	56.0		問 4	93.7
	問 3 (1)	88.0		問 4	43.8		問 5	91.8
	問 3 (2)	58.5		問 5 才	92.5		問 6	4.1
	問 4 (1)	97.3		問 5 カ	51.5		問 7	87.8
	問 4 (2)	88.0		問 6	79.8		問 8	54.9
	問 5 (1)	95.2		問 7	98.4		問 9	81.6
	問 5 (2)	18.7		問 8	31.3		問 10	43.8

合格者最高点 70

合格者最低点 41

1 地理分野からの出題です。

- 問 1 (1) 都道府県の基本的な知識を問う問題で、概ねよくできていました。**A**は青森県、**B**は福岡県、**C**は大阪府、**D**は京都府です。
- (2) 雨温図を問う問題でしたが、やや低い得点率となりました。**A**は冬の降水量が多いので青森市、**B**は年間における寒暖の差が大きいので内陸の京都市、**C**は降水量が少なめな瀬戸内の気候の大阪市、**D**は夏の降水量が多いので福岡市です。
- 問 2 (1) 3府県の面積などを問う問題でしたが、高い得点率でした。①は山がちで可住地面積割合が低い和歌山県、②と③はともに可住地面積割合が高いですが、より総面積が小さい③が大阪府、より総面積が大きい②が千葉県です。
- (2) 地理院地図の読み取り問題でしたが、高い得点率でした。「御陵前駅」の東側にあるのは、神社ではなく寺です。
- 問 3 (1) 基本的な学習事項であり、多くの受験生が理解できていました。どちらも京都府の伝統的工芸品です。
- (2) 基本的な学習事項でしたが、やや低い得点率となりました。漢字指定の問題ですので、正しい漢字での解答のみ正解としました。
- 問 4 (1) 基本的な学習事項であり、ほとんどの受験生が理解できていました。
- (2) 基本的な学習事項で、高い得点率でした。**A**は白神山地、**F**は北海道・北東北の縄文遺跡群について述べたものです。
- 問 5 (1) 基本的な学習事項であり、ほとんどの受験生が理解できていました。漢字指定の問題ですので、正しい漢字での解答のみ正解としました。
- (2) 北九州工業地帯の衰退に関する標準的な論述問題でしたが、低い得点率でした。問われている北九州工業地帯(北九州工業地域)は、かつては鉄鋼業が栄えていました。これは、付近の筑豊炭田で産出される石炭と、距離的に近い中国から鉄鉱石を輸入しやすいという地理的な優位性があったからです。また、指定語句の「革命」という言葉から「エネルギー革命」という事項を書く必要がありましたが、この部分が抜け落ちている答案が多かったです。

2 歴史分野からの出題です。

- 問 1 概ねよくできていました。**B**は1950年代の出来事について述べています。
- 問 2 (1) 概ねよくできていました。**【地図】**から、この路線は、富岡製糸場のある北関東と貿易港のある横浜を結んでいることが読み取れます。また、当時の外貨獲得に貢献した産業は製糸業であることから、この路線が設置された主な目的を考えることができます。

(2) やや低い得点率となりました。**A**は「民間企業が中心となって」という部分が、**B**は「日清戦争」という部分が誤っています。また、**C**の柳条湖事件と二十一カ条の要求は、前後関係・因果関係が誤っています。

問3 概ねよくできていました。「本格的な定住は一切おこなわれていなかった」という部分が誤っています。

問4 やや低い得点率となりました。**A**は「都まで運ばれた」という部分が、**C**は「それぞれの国の国府へ運ばれ」という部分が**D**は「雑徭」という部分が誤っています。

問5 **(オ)**は多くの受験生が理解できており、**(カ)**も概ねよくできていました。漢字指定の問題ですので、正しい漢字での解答のみ正解としました。

問6 高い得点率となりました。**A**は「常設の店舗はみられなかった」という部分が誤っています。**B**の定期市は、鎌倉時代から室町時代にかけて月3回から月6回へと増加しました。**C**の観阿弥と、その息子である世阿弥は、足利義満に保護を受けました。

問7 基本的な学習事項であり、ほとんどの受験生が理解できていました。

問8 もう少し高い得点率を期待していました。①は誤文です。上げ米は、大名から米を献上させる制度です。②も誤文です。人返しの法は、水野忠邦によって出されました。③は正文です。

3 公民分野からの出題です。

問1 高い得点率となりました。①～③はいずれも正文です。

問2 概ねよくできていました。三権分立とは、国家権力である立法権・行政権・司法権をそれぞれ独立した機関にもたせて、互いに抑制しあい、バランスを保つことにより、権力の濫用を防ぎ、国民の権利と自由を保障することです。

問3 概ねよくできていました。①は消費税で、景気に大きく左右されないために税収が比較的安定しており、消費税率が上がったタイミングで税収が一気に上昇しているところも特徴的です。②は所得税で、景気に左右されやすく、歳入の約2割を占め、消費税と並んで税収額が多いことが知られています。③は法人税で、所得税と同様に景気に左右されやすいですが、所得税よりも税収は少なくなっています。

問4 時事的な問題でしたが、高い得点率となりました。2022年2月にロシアがウクライナに侵攻してから、彼の発言はたびたびメディアで取り上げられています。

問5 高い得点率となりました。「キエフ」はロシア語で、「キーウ」はウクライナ語です。また、2022年8月に開かれた核拡散防止条約(NPT)の再検討会議において、ウクライナに関する記述に対してロシアが反対し、最終文書を採択できずに決裂しました。

問6 もう少し高い得点率を期待していました。**B**は、直接請求により住民が解散・解職を請求した場合は、住民投票による同意が必要ですが、首長が議会を解散した際は、住民の同意は不要です。**C**は、条例の制定・改廃の直接請求は、首長に提出することになっています。**D**は、地方公共団体間の財政格差をおさえるために国から交付される補助金は地方交付税交付金です。

問7 高い得点率となりました。沖縄がアメリカ合衆国から返還されたのは1972年5月です。2022年5月に返還から50年経ったことを記念する式典が行われました。

問8 概ねよくできていました。都道府県知事の任期は4年、被選挙権は30歳以上です。また、都道府県知事は都道府県議会に対して、議案提出権や拒否権をもっています。

問9 高い得点率となりました。漢字指定の問題ですので、正しい漢字での解答のみ正解としました。

問10 やや低い得点率となりました。核拡散防止条約(NPT)は、1968年に締結され、1970年に発効した条約で、核不拡散や核軍縮、原子力の平和利用について取り決めています。